# 『日本病院前救急診療医学会誌』投稿規定

『日本病院前救急診療医学会誌』は日本病院前救急診療医学会の機関誌であり，病院前救急診療医学の進歩と発展に寄与することを目的とするものです。その目的に沿った，創意に富む論文の投稿を歓迎します。

## □ 二重投稿および同時投稿の禁止

本誌への投稿論文は，原則として他誌に掲載されていないものに限り，また同時に他誌に投稿することはできません。投稿の際には，二重投稿および同時投稿でない旨を明記し，著者全員が署名・捺印した書面（誓約書）の提出をお願いします。ただし，同時掲載や，外国語で他誌に掲載されたものを日本語にして本誌に余剰出版（重複出版）することが公衆衛生に利すると考えられる場合はこの限りではありません。この場合，投稿時にその旨を必ず申告していただき，他誌掲載論文のコピーまたは別刷の添付をお願いします。掲載の可否は編集委員会で判断し，掲載する場合は，他誌掲載の旨を明記したうえで，論文の種別は「資料」とさせていただきます。

## □ 投稿資格

著者または共同著者のなかに，本学会の会員を少なくとも 1 名含めてください。ただし，編集委員会が特別に認めた場合はこの限りではありません。（入会手続きについては，本学会事務所までお問い合わせください。）

## □ 投稿論文の様式等

以下の「論文の様式」から「原稿の送付」に記載された要件を逸脱する投稿は，原則として受け付けません。

○ 論文の様式

1) 日本語での投稿を基本とする（英文での投稿を希望する場合は，和文抄録を付す)。
2) 投稿論文は「原著」「総説」「症例・事例報告」「症例短報」「調査・報告」「Letter to editor」「資料」のいずれかとし，その種別を明記する。(「症例短報」は，「症例・事例報告」とするには新規性が欠けたり，データが不足しているが，病院前救急診療にとって1つでも興味深い知見が得られた症例を簡単に報告するものとする。)
3) 「原著」「総説」「症例・事例報告」「症例短報」「調査・報告」の様式は，1頁目に和文の題名・著者名・所属施設名，英文の題名・著者名・所属施設名，2頁目に

和文要旨，key word，3頁目から本文，文献，図表（和文）の順に記述する。著者の数は10名以内とする。

4) 「Letter to editor」は，掲載された論文に対する意見ならびにその他の意見欄で，編集委員会で掲載の可否を決定する。著者の数は7名以内とする。

○ 原稿の書き方

1) 原稿は，A4判用紙に横書きで，30字×25行で印刷する。
2) 現代かな遣いで記載し，医学用語以外は常用漢字を使用する。
3) 度量衡は CGS 単位とする。
4) 統計処理を行ったときは，統計学的検定法を明記する。
5) 欧文文字の普通名詞は文頭は大文字，文中は小文字とし，固有名詞，ドイツ語名詞は大文字で始める。
6) 薬品名は，原則として日本語の一般名を使用する。商品名を用いる場合は，一般名に続けて（ ）内に記入する。
7) しばしば繰り返される用語は略語を用いてもよいが，初出時には完全な用語を使用し，続けて（ ）内に略語を明記する。
8) 論文の本文には必ず頁番号を付す。
9) ランニングタイトルは20字以内とする。

○ 和文要旨

「原著」「総説」「症例・事例報告」「症例短報」「調査・報告」には，600字以内の和文要旨を付す。

○ key word

「原著」「総説」「症例・事例報告」「症例短報」「調査・報告」には，本文から抽出した key word を3～5 個付す。

○ 論文の長さ

本文，文献，図表を含め，以下の文字数とする。ただし，図・表・写真は 1 点につき 400 字に換算する。

- 「原著」「総説」　10,000 字以内
- 「症例・事例報告」　8,000 字以内
- 「症例短報」　4,000 字以内
- 「Letter to editor」　2,000 字以内
- 「調査・報告」　制限なし

○ 文　献

1) 文献は引用した順番に本文中に肩付番号を付し，引用した番号順に配列する。「原著」「調査・報告」は20編以内，「総説」は40編以内，「症例・事例報告」は10編以内，「症例短報」は5編以内とする。

2) 著者名は筆頭から3名までを列記し，それ以上は「他」または「et al」とする。

3) 雑誌名略記は『医学中央雑誌収載誌目録略名表』および『Index Medicus』に準じる。以下に記載例を示す。

①雑誌の場合

引用番号) 著者名：題名．雑誌名　発刊西暦年；巻：頁-頁.

［例］ 1) 間渕則文，山田富雄：病院前救急診療科のラピッドカー運用の特徴と課題．救急医学 2014；38：1447-50.

［例］ 2) Matsumoto H, Mashiko K, Hara Y, et al : Effectiveness of a “doctor-helicopter” system in Japan. Isr Med Assoc J 2006；8：8-11.

②単行本の場合

引用番号) 著者名：分担項目題名．編者名，書名，(巻)，(版)，出版社名，発行地，西暦年，pp 頁-頁.

［例］ 3) 牧瀬博，山崎圭：ワークステーションを基盤としたドクターカーシステム．益子邦洋編，エアレスキュー・ドクターカー，永井書店，大阪，2007，pp 132-44.

［例］ 4) Nanda A, Rudrappa S, Tuna H, et al：Neurovascular trauma. In：Randolph WE ed, Neurosurgery and Trauma. 2nd ed, Oxford University Press, Oxford, 2006, pp 167-78.

※ウェブサイトの場合は「タイトル，URL，参照した年月日」を明記する。

○ 図・表・写真

1) 図・表・写真は1点につき400字相当とする。

2) 図・表・写真の内容，説明文はすべて日本語とする。

3) 図・写真の大きさはA4判に収まるものとし，黒色で明確に描く。図・表・写真はA4判用紙1枚に1点とし，図・表・写真の番号（写真も図番号とする），タイトル，説明文を付す。図・写真は，そのまま印刷可能な明瞭なものを準備する。

○ 倫理規定

1) 臨床研究は世界医師会によるヘルシンキ宣言に示された倫理規範を遵守しなければならない。動物実験は医学生物学研究に関する国際指針の勧告に準拠する必要がある。また，厚生労働省等が提示する各種指針を遵守しなければならない。投稿時に，

遵守すべき指針に該当しない場合を除き，当該施設倫理委員会等の承認を受けた旨，本文中に「本研究は当該施設（具体名）倫理委員会の承認を得た」等と，その日付とともに記載する。

2) 「症例・事例報告」および「症例短報」では患者および関係者の特定につながる事項を極力省く。例えば，

①イニシャル，ID 番号，検査番号，患者の住所，前医の名称や所在地は記載しない。

②発生場所の記載が必要な場合は，都道府県あるいは市までの区域に限定する。

③日付の記載は年月までとする。発症あるいは来院時刻は記載しても，その後の時間経過は相対表示で表す。

④診療科名が個人の特定につながる場合は記載しない。

⑤顔写真は目を隠し，眼をみせる場合は眼球のみの拡大写真とする。できれば，患者や関係者から書面による同意を得たり，あるいは，倫理審査委員会の承認を得ることが望ましい。

○ 利益相反

1) 共著者を含むすべての著者について，投稿内容に関連する企業や営利を目的とした団体との利益相反状態について申告する。投稿時に，「投稿時利益相反申告書」を著者 1 人ひとりについて提出する。申告書式は当学会ウェブサイトよりダウンロードする。なお，投稿原稿の本文末尾に，利益相反状態についてごく簡単な一文を加える。

2) 申告すべき利益

投稿時から遡って 1 年間につき，論文内容に関係する企業，組織または団体から得たあるいは取得が予定されている下記に該当する利益とする。

①役員，顧問職等の報酬：1 つの企業，団体から年間 100 万円以上

②株式の利益：1 つの企業から年間 100 万円以上，あるいは当該株式の 5%以上保有

③特許使用料など：1 つにつき年間 100 万円以上

④講演料など：1 つの企業，団体からの年間合計 50 万円以上

⑤原稿料など：1 つの企業，団体から年間計 50 万円以上

⑥研究費，助成金などの総額：企業，団体から 1 つの臨床研究に支払われた年間総額が 50 万円以上

⑦奨学（奨励）寄付などの総額：1 つの企業，団体から，1 名の研究代表者に支払われた年間総額が 100 万円以上

⑧当該研究に用いる機器あるいは材料の無償貸与あるいは無償提供：ただし，当該研究の内容が提供された資器材の評価に影響する場合に限る。したがって，標準物質の提供などはここに含まれないが，相当する金額によっては次項⑨に該当する可

能性がある。

⑨その他（旅費，贈答品などの受領）：1 つの企業，団体から年間 5 万円以上あるいはそれに相当する物品

○ 原稿の送付

1) 原本のほかにコピー3 部，計 4 部を送付する（ただし，写真は原本のみを 4 部）。

2) 「タイトルページ，自己チェックリスト」の添付

学会ウェブサイトより「タイトルページ，自己チェックリスト」をダウンロードし，記入のうえ論文とともに提出する。

3) 電子データの添付

本文，図表の電子データを（できれば写真の電子データも），CD-R に収載し添付する。

4) 送付先

〒164-0001 東京都中野区中野 2-2-3

株式会社へるす出版内

日本病院前救急診療医学会 編集委員会

電話：03-3384-8155 FAX：03-3383-1584

## □ 論文の採否

投稿論文の採否は編集委員を含む2名で査読後，編集委員会の審査によって決定し，採用決定の日をもって受理年月日とします。

## □ 掲載費用

1) 論文の掲載費用は無料とするが，カラー図版を掲載する場合は実費（仕上がり 1 頁につき 20,000 円）を著者の負担とします。

2) 別刷は実費負担（1 部 100 円）とし，著者校正時に部数を確認します。

## □ 著者校正

著者校正は，原則として 1 回とし，校正者がとくに指定されていない場合は，筆頭著者とします。著者は校正時に，編集上の必要から編集委員会が行った修正内容についても確認し，確認後は原稿の内容について著者が責任をもつこととします。

## □ 著作権について

本誌に掲載される論文等の著作権は日本病院前救急診療医学会に譲渡されるものとしま

す。ただし，以下の権利は著者の手元に残るものとします。

・論文等の一部を著者が自らの著作物中に利用する権利
・論文等の一部を著者が営利を目的とせず利用する権利（例えば教育資料として）
・その他，著作権法に反しない利用の権利
・著作権以外の例えば特許権等の権利

著者が上記以外の利用を希望する場合は，日本病院前救急診療学会に申し出て許諾を得る必要があります。